

■ 使用方法

- ①散布する機材(散布車、背負動噴等)のタンクに、水を1/4～1/2ほど投入します。
- ②ストーンウォールを希望の希釈率になるようにタンクに加えます。
- ③残りの水をタンクに投入します。
- ④水とストーンウォールを混ぜ合わせます。
- ⑤希釈液を1ℓ/㎡で散布します。
- ⑥散布地表面は散布から6時間程度で固化し、24時間程度で固化が完了します。

■ 製品特性

素材	主成分	高分子ポリマー
物性	色	緑色乳状液体
	pH 数値	7.0
	粘度	1,000~2,500mpa*s(cp)
	比重数値	1.03
安全性	重金属	不検出
	PRTR 法	該当なし
	安全性データ	GLP 適合 一般財団法人化学物質評価研究機構 (CERI) にて生態毒性試験を実施 *OECD テストガイドラインに準拠
荷姿	荷姿	ポリエチレン製ブロー容器 1,000ℓ/20ℓ
経済性	標準希釈率	水 85% に対しストーンウォール 15%
	標準散布量	1ℓ(希釈液)/㎡
	散布回数	1回

散布面積	希釈割合 ストーンウォール：水 (ℓ)		
	10%	15%	20%
20 ㎡	2：18	3：17	4：16
50 ㎡	5：45	7.5：42.5	10：40
100 ㎡	10：90	15：85	20：80
200 ㎡	20：180	30：170	40：160
300 ㎡	30：270	45：255	60：240
500 ㎡	50：450	75：425	100：400
1,000 ㎡	100：900	150：850	200：800



1,000ℓタンク



20ℓタンク

■ 安全性

一般財団法人化学物質評価研究機構にて、生態毒性試験を実施。
 藻類・ミジンコ・ヒメダカの3生物に影響を及ぼさないと判断されました。
 ※その他、重金属検査等の安全性に関する試験を実施しています。

安全性生態毒性試験結果▶



粉じん・侵食防止剤 ストーンウォール

低コスト

+

粉じん抑制

+

法面保護

水で希釈するだけの
簡単な散布で
効果は長持ち

粉じん・雨裂防止対策



お問い合わせ

株式会社 吉浦
 福岡県福岡市早良区祖原 16-16-202
 TEL：092-832-3237
 Email：info@yoshiura-ltd.com





「ストーンウォール」とは

散布車や噴霧器で簡単に粉じん・浸食防止施工ができる液体製品です。水で希釈して散布し乾燥させることで、地表面は長期にわたり耐水性と耐風性を保持するため、**コストと時間の大幅な削減**が可能となります。

国土交通省・新技術情報提供システム「NETIS」
茨城県版・新技術情報提供データベース「ITS」に工法登録されています。

01

粉じん飛散防止

ストーンウォールに配合されている丈夫な高分子ポリマーにより、**地表面を固化・安定化**させ粉じん飛散を抑制します。



02

雨裂浸食防止

雨水等によって発生する浸食を抑制します。造成工事の際に必要な、**浸食部分の復旧**にかかる**コストの軽減**が可能となります。



03

法面保護

法面に使用することにより、「**雨裂の防止**」「**崩壊の防止**」に効果を発揮します。



散布面の様子 散布した地表面は約10~15mmの固化層を形成する。

散布直後



乾燥後



固化断面 (10~15mm)



散布実績

赤磐市多賀地区太陽光発電所新設工事現場 【ストーンウォール希釈濃度：10%】



糸引公園防じん処理工事現場 【ストーンウォール希釈濃度：10%】



散布機材 「1時間当たりの散布面積目安」は散布準備に要する時間も含めて算出。

背負噴霧器※容量20ℓ
(1時間当たりの散布面積目安：120㎡)



動力噴霧機※容量300ℓ
(1時間当たりの散布面積目安：600㎡)



動力噴霧機※容量1,000ℓ
(1時間当たりの散布面積目安：900㎡)



ストーンウォール 直接工事費

127円/㎡

平地希釈濃度：5%
効果継続期間：6ヶ月



推奨希釈濃度及び希釈液散布量

施工対象	平地	法面
	希釈濃度	10%
直工費 (施工面積：3,000㎡)	202円/㎡	352円/㎡
希釈液散布量	1ℓ/㎡	
散布回数	1回	
効果継続期間	10ヵ月~12ヵ月	

導入までの流れ

STEP 1 申し込み

お電話、メールにてお問い合わせください。

STEP 2 ヒアリング

ご要望や現場条件などをヒアリングさせていただきます。

STEP 3 見積書

ヒアリング内容を基にご提案いたします。

STEP 4 導入

指定頂いた場所に商品を納品いたします。